

じぶんの町を良くするしくみ。 赤い羽根共同募金



令和8年度 赤い羽根共同募金フォトコンテスト

最優秀賞 本田 彩華さん

作品タイトル

「ひんやりアイス、あったか笑顔」

in Onojo!

2026年10月1日(木)
全国一斉スタート



運動期間

2026年10月1日(木)～12月31日(木)



福岡県共同募金会大野城市支会

(社会福祉法人 大野城市社会福祉協議会)

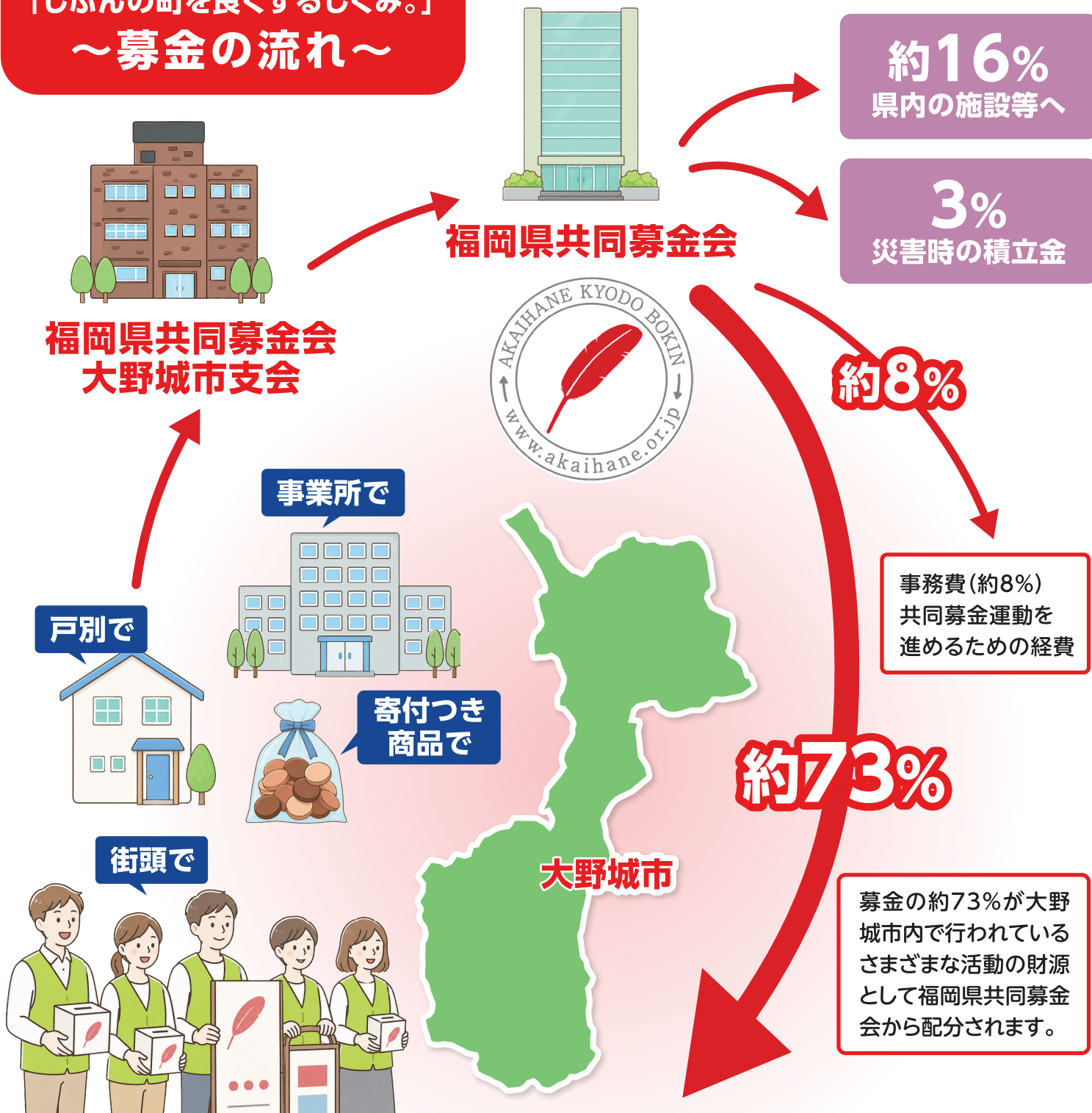
〒816-0934 福岡県大野城市曙町2-3-2総合福祉センター

TEL 092-572-7700 FAX 092-593-5829

Email: info@onojo-vc.jp

「じぶんの町を良くするしくみ。」

～募金の流れ～



大野城市に配分される募金の内訳

地域に配分

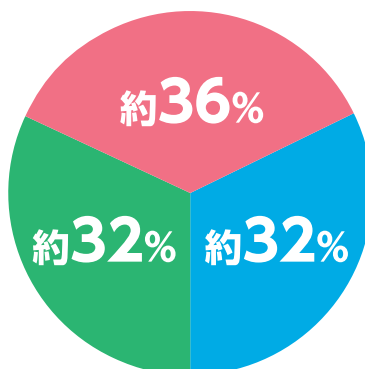
- 28地区福祉活動費
(子育てサロン、高齢者ミニデイ、見守り訪問活動など)
- コミュニティ福祉活動費

社協事業に配分

- ハンディキャブ、福祉用具の貸出
- 災害時支援
- 広報啓発
- 子育て支援
- 福祉教育

団体に配分

- 身体障がい者福祉協会
- 筑紫保護区保護司会大野城支部
- シニアクラブ連合会
- 遺族会
- 母子寡婦福祉会
- 子ども会育成会連絡協議会
- 他市内6団体



募金を活用した取り組みのご紹介

地域の福祉活動



高齢者ミニデイ・見守り活動に



子育てサロンに

団体の福祉活動



身体に障がいのある方への支援に

〈大野城市身体障がい者福祉協会〉



犯罪や非行のない明るい地域社会に

〈筑紫保護区保護司会大野城支部〉

社協の福祉活動



ハンディキャブの貸出に



災害時の支援に

＼つつじヶ丘区 /
取組動画公開中！



赤い羽根共同募金とは

八十周年

ありがとう。これからも一緒に。

町には、一人暮らしの高齢者や障がい者、子育ての中のお父さんや
お母さんなど、支えを必要とする人たちがいます。

そうした支えを必要とする人たちのために、民間活動として様々な応援活動が行われており、
赤い羽根共同募金はその活動を財政面から支援しています。



福岡県では、集められた募金の約7割が地域（市区町村）の福祉活動に
活用されます。募金運動で募ること、募金配分金を使って活動すること、
このサイクルはまさに「じぶんの町を良くするしくみ。」なのです。

歴史・組織

赤い羽根共同募金運動は、戦後間もない昭和
22年から全国一斉に始まり、今年で80年を迎え
ます。

現在は、社会福祉法に基づく募金運動として、
都道府県単位に組織された共同募金会が実施主体
となって毎年10月1日から赤い羽根共同募金運動
に取り組んでいます。

福岡県共同募金会では、地域住民の身近な窓口
として、市区町村に66の支会を設置しています。

「赤い羽根」は、共同募金運動のシンボルで、
昔から世界中で勇気や良い行いのしるしとして使
われてきました。

災害支援にも

共同募金会では、災害に備えて募金金額の
3%を3年間積み立てており、災害時に被災され
た方とボランティアをつなぐ災害ボランティアセ
ンターの運営支援や、福祉施設の復旧支援等に
活用しています。

福岡県では、令和7年8月および令和5年7月の
大雨災害の際、県内に災害ボランティアセンター
が設置され、その活
動を支援しました。



共同募金の使いみちは、
「はねっと」で公開中！



共同募金への寄附には、
税制上の優遇措置があります

- 法人からの寄附は「全額損金算入」
- 個人からの寄附は「所得税控除」、「住民税控除」



詳しくは、
**福岡県共同募金会
ホームページ**
をご覧ください。



さまざまな募金の「カタチ」

PayPay ▶▶▶



J-Coin Pay ▶▶▶



ネット基金 ▶▶▶

